

小学校体育の実証的研究

- 四月当初の指導計画に着目して -

七尾市立和倉小学校教諭（保健体育専攻） 種谷 多聞

1 目的

多くの期待と責任を負っている学校体育でとりわけ、「授業」で何ができるのか。具体的には、四月当初の指導計画の違い・教師の指導性がいかに体育授業づくりに影響を与えるかに着目し、「どのような内容で」「どれだけ期間」学習したならば、望ましい学習スタイルの定着が図れ、その結果として子ども達からの授業評価が高まるか、換言すれば、「よい授業づくり」を実証的に検討することを目的とした。

2 方法

指導性が異なる6年生2クラス（T小・W小）を対象校として、二種類の調査結果から考察した。その一つは、子ども達の実態（体育授業態度の変容）を把握するための体育授業態度評価（表1，2参照）である。はじめに進級した段階で診断的授業評価（単元前評価）を行い、次に四月当初の単元を終了した段階で総括的授業評価（単元後評価）を質問用紙により調査し、単元全体に関わった授業診断を行うことで、「楽しむ」「わかる」「できる」「まもる」の4因子に分け評価基準に照らし合わせ評価した。

二つ目は、「子どもによる授業評価」である。これは、授業終了後、実際に体育授業を受けた子ども達に「形成的授業評価表」（表3，4参照）を配布し、その授業に関わって評価させるものである。毎時間終了時に授業評価（9項目）を質問用紙により調査し、調査結果を「成果」「意欲・関心」「学び方」「協力」の4因子に分けることで、一単位時間のそれぞれに、子どもが体育授業でどのような観点から捉え、評価するのかを子どもの授業評価の構造を通して検証した。

3 結果と考察

診断的授業評価（図1～4参照）から、6年進級時での両校の体育授業態度の数値に大きな差は認められなかったが、単元後の総括的授業評価では大きな変化を見ることが出来た。この結果は四月当初の単元計画に起因していると考えられる。また、形成的授業評価（図5，6参照）から両校を比較すると時間の経過と共に両校とも同じような折れ線グラフを示すが、その到達具合（満足度）が異なってくる。つまり、指導計画でより明確かつ段階的に学習を方向づけていく指導性を発揮したW小学校と、今までの経験を大切に子どもの興味・関心がさほど高くない学習内容を展開するという指導性を発揮したT小学校とに大きな差異が生じたことから、四月当初の効果的な指導計画の一例を明らかに出来たと考える。

4 今後の課題と研修成果の活用

教育現場を実際に預かるものとして、子ども達から評価される体育授業のあり方について研究を深めたい。なお、小学校では原則学級担任が全教科を担当することが多い。体育を専門とない教師も多いはずである。そこで本研究が学級開き、学級作りと平行して体育学習をスムーズに進めるための一助となれば幸せである。体育学習を通じて、子ども達の心と体の更なる一体化を図るべく研鑽に励みたい。

表 1 体育授業についての調査

年 組 男・女 番 名前 ()

これまでの体育の授業を思い出して、下の質問にこたえてください。

あなたの考えにもっとも当てはまるものに○をつけてください。

- 1 . 体育では、みんなが楽しく勉強できます。 (はい・どちらでもない・いいえ)
- 2 . 体育では、明るいあたたかい感じがします。 (はい・どちらでもない・いいえ)
- 3 . 体育をすると、体がじょうぶになります。 (はい・どちらでもない・いいえ)
- 4 . 体育では、せいっぱい運動することができます。(はい・どちらでもない・いいえ)
- 5 . 体育で体を動かすと、とても気持ちがいいです。 (はい・どちらでもない・いいえ)
- 6 . 体育をしているとき、どうしたら運動がうまく
なるかを考えながら勉強しています。 (はい・どちらでもない・いいえ)
- 7 . 体育をしているとき、うまい子や強いチームをみて、
うまくできるやり方を考えることがあります。 (はい・どちらでもない・いいえ)
- 8 . 体育で運動するとき、自分のめあてをもって勉強します。
(はい・どちらでもない・いいえ)
- 9 . 体育で習った運動を休み時間や放課後に練習することがあります。
(はい・どちらでもない・いいえ)
- 10 . 体育では、友だちや先生が励ましてくれます。 (はい・どちらでもない・いいえ)
- 11 . わたしは、運動が上手にできるほうだと思います。
(はい・どちらでもない・いいえ)
- 12 . わたしは、少しむずかしい運動でも練習するとできるようになる自信があります。
(はい・どちらでもない・いいえ)
- 13 . 体育では、自分からすすんで運動します。 (はい・どちらでもない・いいえ)
- 14 . 体育が始まるまえは、いつもはりきっています。(はい・どちらでもない・いいえ)
- 15 . 体育では、いろいろな運動が上手にできるようになります。
(はい・どちらでもない・いいえ)
- 16 . 体育では、いたずらや自分勝手なことをしません。
(はい・どちらでもない・いいえ)
- 17 . 体育では、クラスやグループのやくそくごとを守ります。
(はい・どちらでもない・いいえ)
- 18 . 体育では、先生のはなしをきちんと聞いています。(はい・どちらでもない・いいえ)
- 19 . 体育で、ゲームや競争をするときは、ルールを守ります。
(はい・どちらでもない・いいえ)
- 20 . 体育で、ゲームや競争をするときは、ずるいことや
ひきょうなことをして勝とうとは思いません。 (はい・どちらでもない・いいえ)

表 2

診断的評価と総括的評価の診断基準

項目名		5	4	3	2	1
Q1	楽しく勉強	3.000 ~ 2.740	2.739 ~ 2.632	2.631 ~ 2.416	2.415 ~ 2.308	2.307 ~ 1.000
Q2	明るい雰囲気	3.000 ~ 2.565	2.564 ~ 2.450	2.449 ~ 2.221	2.220 ~ 2.107	2.106 ~ 1.000
Q3	丈夫な体	3.000 ~ 2.857	2.856 ~ 2.771	2.770 ~ 2.600	2.599 ~ 2.515	2.514 ~ 1.000
Q4	精一杯の運動	3.000 ~ 2.689	2.688 ~ 2.583	2.582 ~ 2.372	2.371 ~ 2.267	2.266 ~ 1.000
Q5	心理的充足	3.000 ~ 2.797	2.796 ~ 2.710	2.709 ~ 2.537	2.536 ~ 2.451	2.450 ~ 1.000
たのしむ(情意目標)		15.000 ~ 13.487	13.486 ~ 13.065	13.064 ~ 12.221	12.220 ~ 11.799	11.798 ~ 5.000
Q6	工夫して勉強	3.000 ~ 2.369	2.368 ~ 2.244	2.243 ~ 1.995	1.994 ~ 1.871	1.870 ~ 1.000
Q7	他人を参考	3.000 ~ 2.680	2.679 ~ 2.577	2.576 ~ 2.372	2.371 ~ 2.270	2.269 ~ 1.000
Q8	めあてを持つ	3.000 ~ 2.194	2.193 ~ 2.049	2.048 ~ 1.759	1.758 ~ 1.614	1.613 ~ 1.000
Q9	時間外練習	3.000 ~ 2.347	2.346 ~ 2.137	2.136 ~ 1.718	1.717 ~ 1.509	1.508 ~ 1.000
Q10	友人・先生の励まし	3.000 ~ 2.484	2.483 ~ 2.344	2.343 ~ 2.064	2.063 ~ 1.924	1.923 ~ 1.000
学び方(思考・判断)		15.000 ~ 11.737	11.736 ~ 11.183	11.182 ~ 10.076	10.075 ~ 9.523	9.522 ~ 5.000
Q11	運動の有能感	3.000 ~ 2.086	2.085 ~ 2.001	2.000 ~ 1.832	1.831 ~ 1.748	1.749 ~ 1.000
Q12	できる自信	3.000 ~ 2.437	2.436 ~ 2.338	2.337 ~ 2.141	2.140 ~ 2.043	2.042 ~ 1.000
Q13	自発的運動	3.000 ~ 2.428	2.427 ~ 2.333	2.332 ~ 2.144	2.143 ~ 2.050	2.049 ~ 1.000
Q14	授業前の気持ち	3.000 ~ 2.517	2.516 ~ 2.399	2.398 ~ 2.163	2.162 ~ 2.045	2.044 ~ 1.000
Q15	いろいろの運動の上達	3.000 ~ 2.622	2.621 ~ 2.524	2.523 ~ 2.328	2.327 ~ 2.230	2.229 ~ 1.000
できる(運動目標)		15.000 ~ 11.881	11.880 ~ 11.490	11.489 ~ 10.709	10.708 ~ 10.319	10.318 ~ 5.000
Q16	自分勝手	3.000 ~ 2.545	2.544 ~ 2.450	2.449 ~ 2.261	2.260 ~ 2.167	2.166 ~ 1.000
Q17	約束ごとを守る	3.000 ~ 2.798	2.797 ~ 2.709	2.708 ~ 2.532	2.531 ~ 2.444	2.443 ~ 1.000
Q18	先生の話聞く	3.000 ~ 2.703	2.702 ~ 2.598	2.597 ~ 2.388	2.387 ~ 2.283	2.282 ~ 1.000
Q19	ルールを守る	3.000 ~ 2.892	2.891 ~ 2.824	2.823 ~ 2.688	2.687 ~ 2.620	2.619 ~ 1.000
Q20	勝つための手段	3.000 ~ 2.921	2.920 ~ 2.838	2.837 ~ 2.673	2.672 ~ 2.591	2.590 ~ 1.000
まもる(社会的行動目標)		15.000 ~ 13.707	13.706 ~ 13.343	13.342 ~ 12.616	12.615 ~ 12.253	12.252 ~ 5.000
合計得点		60.000 ~ 50.309	50.308 ~ 48.830	48.829 ~ 45.873	45.872 ~ 44.395	44.394 ~ 20.000

表 3 体育授業についての調査

月 日 ()

番 名前 ()

きょうの体育の授業について質問します。下の1～9について、あなたはどのように思いましたか。当てはまるものに○をつけてください。

1. 深く心に残ること、感動することがありましたか。
(はい・どちらでもない・いいえ)
2. 今までできなかったこと(運動や作戦)ができるようになりましたか。
(はい・どちらでもない・いいえ)
3. 「あっ、わかった!」とか「あっ、そうか」と思ったことがありましたか。
(はい・どちらでもない・いいえ)
4. 精いっぱい、全力をつくして運動することができましたか。
(はい・どちらでもない・いいえ)
5. 楽しかったですか。
(はい・どちらでもない・いいえ)
6. 自分から進んで学習することができましたか。
(はい・どちらでもない・いいえ)
7. 自分のめあてにむかって何回も練習できましたか。
(はい・どちらでもない・いいえ)
8. 友達と協力して、なかよく学習できましたか。
(はい・どちらでもない・いいえ)
9. 友達とお互いに教えたり、助けたりしましたか。
(はい・どちらでもない・いいえ)

《参考文献》

- (表1, 2) 高田俊也・岡澤祥訓・高橋健夫・鐘ヶ江淳一(1991)「体育授業における新しい授業診断法の作成 特に小学校高学年を対象に」, 体育授業改善のための基礎的研究,(研究代表者:高橋健夫,平成1・2年度文部省科学研究費(総合研究A)研究報告書)172-182
- (表3) 高橋健夫・長谷川悦示・狩谷三郎(1994.3)「体育授業の「形成的評価法」作成の試み」『優れた体育授業を実現するための指導法に関する実証的研究/研究代表者:高橋健夫』科学研究費補助金研究成果報告書 129-138
- (表4) 長谷川悦示・高橋健夫・松本富子(1994.3)「小学校体育の形成的授業評価票及び診断基準作成の試み」『優れた体育授業を実現するための指導法に関する実証的研究/研究代表者:高橋健夫』科学研究費補助金研究成果報告書 139-148

表 4

形成的授業評価の診断基準

次元	項目	評定				
		5	4	3	2	1
成果	1. 感動の体験	3.00~2.62	2.61~2.29	2.28~1.90	1.89~1.57	1.56~1.00
	2. 技能の伸び	3.00~2.82	2.81~2.54	2.53~2.21	2.20~1.93	1.92~1.00
	3. 新しい発見	3.00~2.85	2.84~2.59	2.58~2.28	2.27~2.02	2.01~1.00
	次元の評価	3.00~2.70	2.69~2.45	2.44~2.15	2.14~1.91	1.90~1.00
意欲・ 関心	4. 精いっぱい の運動	3.00	2.99~2.80	2.79~2.56	2.55~2.37	2.36~1.00
	5. 楽しさの体験	3.00	2.99~2.85	2.84~2.60	2.59~2.39	2.38~1.00
	次元の評価	3.00	2.99~2.81	2.80~2.59	2.58~2.41	2.40~1.00
学び方	6. 自主的学習	3.00~2.77	2.76~2.52	2.51~2.23	2.22~1.99	1.98~1.00
	7. めあてをも った学習	3.00~2.92	2.91~2.71	2.70~2.46	2.45~2.25	2.24~1.00
	次元の評価	3.00~2.81	2.80~2.57	2.56~2.29	2.28~2.05	2.04~1.00
協力	8. なかよく学習	3.00~2.92	2.91~2.71	2.70~2.46	2.45~2.25	2.24~1.00
	9. 協力的学習	3.00~2.83	2.82~2.55	2.54~2.24	2.23~1.97	1.96~1.00
	次元の評価	3.00~2.85	2.84~2.62	2.61~2.36	2.35~2.13	2.12~1.00
総合評価（総平均）		3.00~2.77	2.76~2.58	2.57~2.34	2.33~2.15	2.14~1.00

<活用のしかた>

- 1) 授業終了後に形成的評価表を実施し、「はい」を3点、「いいえ」を1点、「どちらでもない」を2点として、回答を得点化する。
- 2) 各項目・次元、および9項目合計得点について、クラス平均得点を算出する。
- 3) 算出した平均点を診断基準で評価する。例えば、「成果」次元のクラス平均得点が2.56であれば、その次元の評価欄の数値を照合することで、その授業が「成果」次元については、評価「4」と診断される。

図1

体育授業態度評価(診断的・総括的授業評価)
T小学校

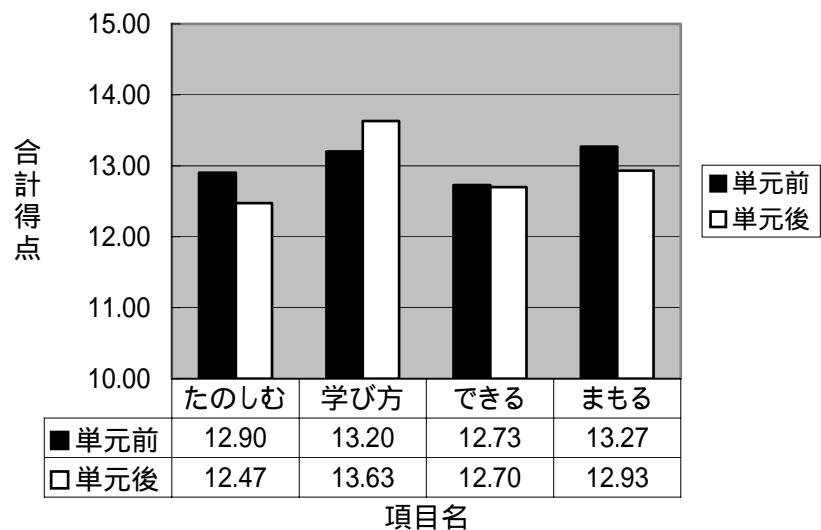


図2

体育授業態度評価(診断的・総括的授業評価)
W小学校

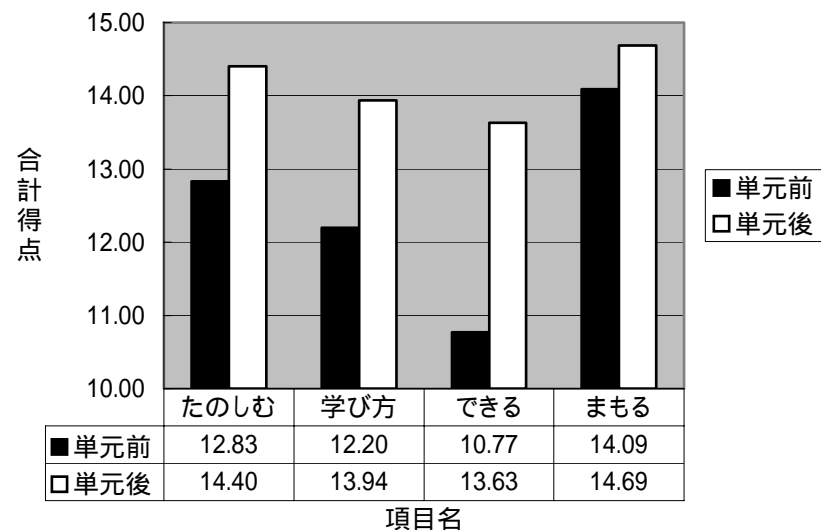


図3

診断的体育授業態度評価

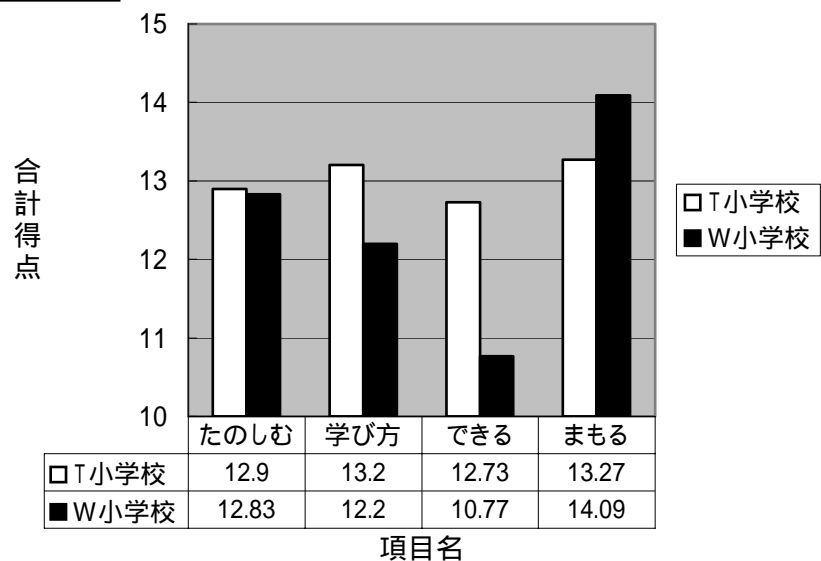


図4

総括的体育授業態度評価

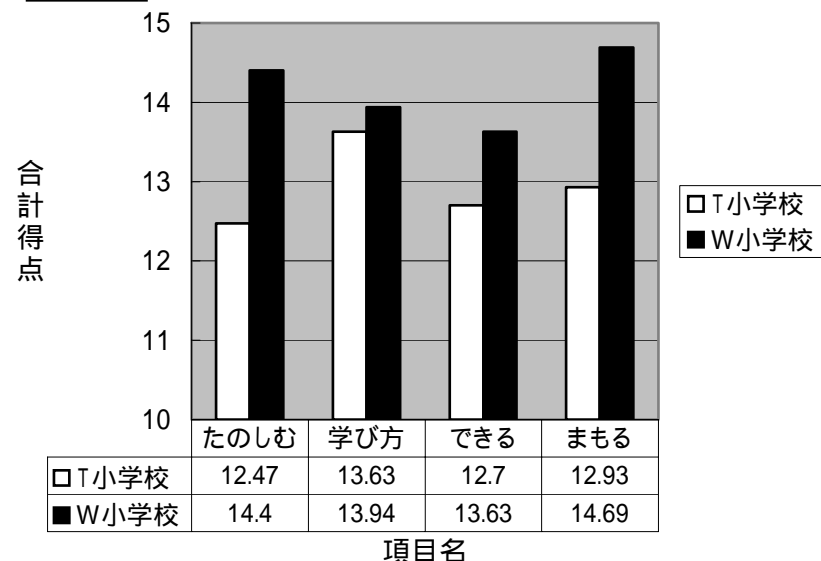


図5

形成的授業評価(T小学校 4/11～4/24)

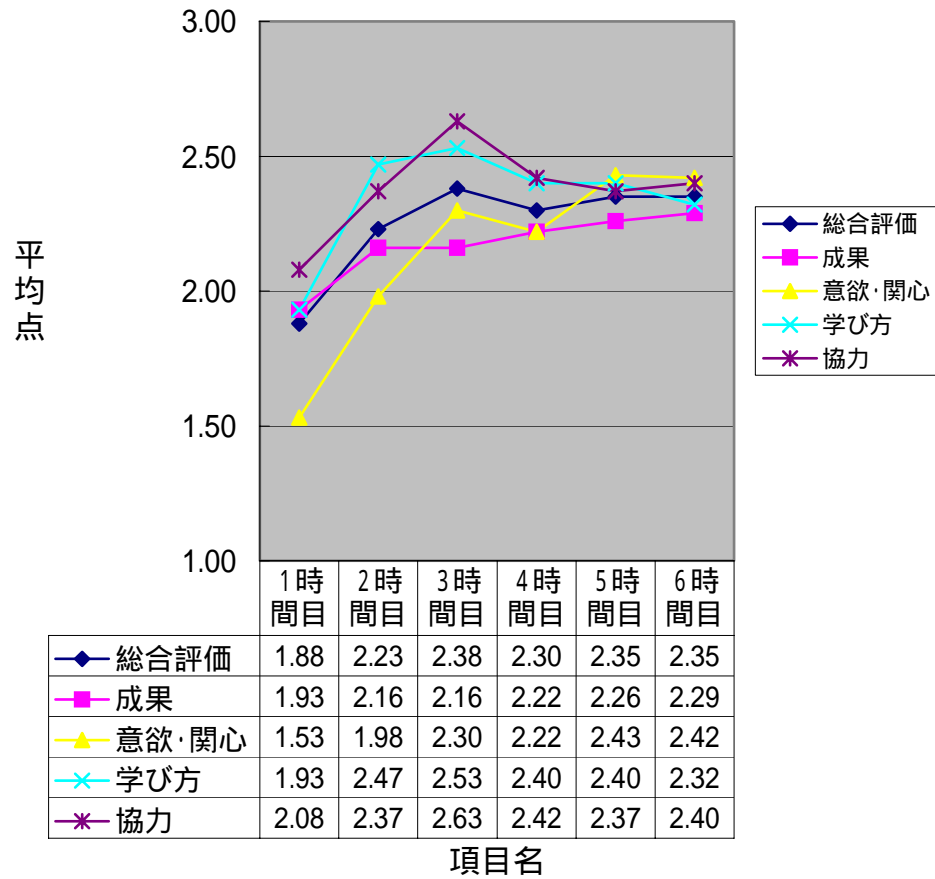


図6

形成的授業評価(W小学校 4/10～4/22)

